

# 学校評価報告

令和7年度における「学校評価」の実施内容を以下のとおり報告いたします。

## 令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人亀井学園 江東めぐみ幼稚園

### 1 本園の教育目標

本園は、遊び、友達との関わり、専門講師による絵画・音楽・体操・英語指導等を通して、創造性が豊かで自主自立心が強く実践力があり、明るく健やかな幼児の育成を教育目標としています。

### 2 本年度重点的に取り組む目標・計画

本年度は、平常保育や年間行事を通して、幼児一人一人の成長につながる教育を実践するとともに、幼児の情操教育の一環として専門講師による造形・体操に重点的に取り組みます。

### 3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組み状況
1 教育目標に基づき教育課程、指導計画を作成し、教職員間で共通理解幼児を深めながら指導します。また、専門講師による音楽指導を通して、創造性・自主自立心・実践力のある幼児を育てます。	4.1	教育目標に基づき、教育課程・指導計画を作成し、クラスの動きなど一覽し申し送りをする中で、共通理解のもと個々の幼児理解を深めるように努めました。また、専門講師の指導を日々の保育に取り入れ、遊びを通して発展させて、なわとびや楽器など個々の自信に繋げることができました。
2 地震・津波・火災・不審者等に対する教職員・幼児の安全対応能力向上のため、防災・防犯訓練を実施します。	4.0	毎月のマニュアルに沿って、いろいろな場面想定を変化させて避難訓練を実施し、迅速に行動することができました。また、津波による安全対応において、外部の屋上避難訓練を実施し、細かい配慮点や見直しを確認しました。保育室の安全管理点検及び対策を毎月確認し、改善に努めました。
3 園内・園外研修への参加や課題の解決、教職員同士の話し合いを通じて教職員の資質向上に努めます。	4.0	外部講師による研修により、他園との話し合いなどで参考になる点も多く、研修内容をレポートにまとめ振り替えしをし、資質向上に努めました。AED講習は毎年実践を通し、より深い理解に繋がっています。
4 保護者との連携・協力により、年間行事や日々の保育を円滑に進行させ、教育内容の充実を図ります。	4.1	あらかじめの年間行事や毎日のお知らせにより、保護者の方の理解と協力のもと、円滑に実施することができました。毎日の保育内容をクラスごとに配信することにより、細かい配慮や保護者への信頼に繋がりました。
5 特別支援児ごとに指導・支援計画を作成し、関係機関の協力を得ながら、特別支援教育内容の充実を図ります。	3.9	特別支援児ごとに、個人別計画・支援計画を作成し、保護者面談を行いながら関係機関の参観などで連携を計りました。また、園内の心理士相談により、個々の成長過程の充実に努めました。
6 保護者の実情や子育て世代の要望に沿った預かり保育並びに地域の子育て世代を支援する地域教育事業を実施します。	4.0	保護者の方の要望に応じ、時間の延長、バスによる送迎、夏休みのお盆時期の預かり、未就園児対象のちびっこランドや読み聞かせ、あずかーるを実施することができました。

評価（5：十分に達成 4：達成 3：おおむね達成 2：要努力 1：改善を要する）

### 4 総合的な評価結果

評価	理由
4.0	今年度も、とうきょうすくわくプログラムに参加し、感触遊びや光と音をテーマとし、多彩な体験・経験に触れ合うことができる、探究活動を楽しく行うことができました。また、陶芸や囲碁・野球など、専門講師による経験も興味深く、次年度も主体性や自己肯定感も育まれる教育・向上に取り組めます。

### 5 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
4 誰でも通園制度の利用	誰でも通園制度の利用や、行事による満3歳児の兄弟姉妹の預かり、長期預かりの内容見直しなど、保護者の方の要望に応じていきます。
6 異年齢との関わり	満3歳児保育が始まり、異年齢との関わりにより、遊びを通して自主自立心、実践力の育みを目指します。

### 6 学校関係者評価委員会の評価

今年度もしっかりと目標を立て実行されていたように思います。  
年長児では外部講師により初めて行われた囲碁体験、例年行われているわくわくサマーでは新たにスライダ遊びを取り入れるなどいつも同じことの繰り返しばかりでなく、常に子どもたちが色々な体験を通し、感じたり・楽しめるよう考えてくださっています。  
新たに取り入れられた満3歳児保育では、年齢に合わせほかの学年とは別日に小規模で運動会を開催するなど、保護者にとっても子どもたちにとっても負担のないよう工夫されていました。  
来年度から始まる誰でも通園制度により、多くの方から喜びの声が上がりそうですよう期待しております。